

生活単元学習学習指導案

あさひ子学級 5組 6名 指導者 三浦 和也

本授業は、以下の検証を行うものである。

既存の知識では解決できない課題と向き合うことは、進んで問題解決を図ろうとする
問題発見・解決能力を育成するための手立てとして有効であったか。

1 小単元 校区探検をしよう

2 目 標

友達と歩いたり公共交通機関に乗ったりしながら校区探検をすることで、身近な環境と自分たちの生活とのつながりについて考え、これまで学習してきたことを生かし、新たな活動を行うことよさのよさに気付くことができるようにする。

3 小単元の評価規準

知能・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身近な環境と自分たちの生活とのつながりについて知ることができる。公共交通機関を利用して目的地まで移動したり、調べたことを絵地図にまとめたりすることができる。	様々な建物や施設、土地の利用の仕方から、身近な環境と自分たちの生活とのつながりについて考え、自分なりの方法で表現している。	校区内の様子を意欲的に友達と協力して調べることを通して、校区地図を作ろうとしている。

4 小単元について

(1) 小単元について

4月の「学校探検をしよう」では、校内の教室等の場所や名前について知ったり説明したりする活動を経験している。この経験から子供たちは「他の場所にも行きたい。」という願いをもっている。

そこで本単元では、学校内から校区内に範囲を広げ、実際に校区内を歩いて回ったり、バスに乗って出掛けたりする活動を設定した。普段よく見る家の近くだけでなく、校区内には自分が知らない場所がいくつもあることに気付くとともに、身近な環境と自分たちの生活とのつながりについて知ることができるようにしたい。また、校外で見学する際の方法やマナーについて考えたり、公共交通機関を利用する方法やマナーなどを考えたりする活動を取り入れ、これまでに学んだ力を活用し、子どもたちが自信をもって、進んで学習することができるようにしたい。

このような活動を通して、子どもたちは教科等で学習した力を発揮したり、新たな課題を解決したりしながら、学習を深めることができるものとする。

(2) 子どもについて

	A (1年)	B (3年)	D (4年)
	C (5年)	C (5年)	E (6年)
内味校の・区知関探検心や校の区興	入学したばかりで、校区内の知識はないが、探検に対する興味はある。	自分の住んでいる地区については知っているが、他の地区については知識がない。	知らない場所に行ってみたいという思いが強く、探検に対する関心が高い。
	行動手段は車が多いため、校区内の知識はあまりない。校区探検に行くことを楽しみにしている。	住んだことのある地区について知識があり、校区探検に行くことを楽しみにしている。	行動範囲が広く、校区内の知識も豊富である。校区探検の経験もあり、意欲も高い。
方関校の心外理学解バ習スの興味・乗り・	公共交通機関を利用する経験は少ないが、乗り物への関心は高い。	公共交通機関を利用した経験は少ないが、乗り物への関心が高く活動を楽しむことができる。	校外学習への関心が高く、公共交通機関を利用して移動することを楽しむことができる。
	普段の生活で公共交通機関を利用することは少ないが、友愛バスを使った乗降ができる。	校外学習への関心が高く、料金を払い、バスの乗車でき、活動を楽しみにしている。	バス通学の経験があり、バスの利用の仕方についてはよく理解している。

(3) 指導について

本単元では、子どもたちの実態をふまえ、校区探検へ行く計画や準備を通して、主体的に活動を行うための学習を展開する。具体的には、これまでの学習や日常生活における経験をいかして、つくし手帳を作成し、校外で見学する際のきまりや公共交通機関や

公共施設を利用するきまりを確認する活動を展開する。実際の校外学習で自分のことは自分でできるように、模擬体験による経験をする。校外学習後は映像等を使って振り返る活動を行い、自分ができたことに気付くことができるようにし、家庭での生活や地域社会での生活場面においても活用することができるように意欲を高めたい。

5 指導計画

過程	主な学習活動	評価規準			時間
		A (1年)	B (3年)	C (4年)	
		D (5年)	E (5年)	F (6年)	
導入	1 「ここはどこでしょう」クイズをする。	関：クイズに楽しみながら参加しようとしている。	関：写真を見て、校区内のどこかを考えようとしている。	関：写真を見て、校区内のどこかを考えようとしている。	2
	2 学習計画表を作成する。	関：写真を見て、自分の知っている場所かそうでないかを考えようとしている。	関：写真を見て、校区内のどこで、どのような場所かを考えようとしている。	関：写真を見て、校区内のどこで、どのような場所かを考えようとしている。	
展開	3 校区探検をする計画を立てる。(つくし手帳を作る。) ○ 日程、コース ○ バスの乗り方 ○ 持って行くもの ○ 気を付けること、調べること	関：楽しみながら準備や練習をしようとする。 思：つくし手帳を使って、活動計画を立てることができる。 知技：教師が言葉掛けをすることでバスの乗り降りができる。公共の場での過ごし方がわかる。	関：本時の活動に見通しをもち、準備や練習をしようとする。 思：つくし手帳を使って、活動計画を立てることができる。 知技：バスに乗ったときに自分でお金を払うことができる。みんなと一緒に公共の場で過ごすことができる。	関：友達と協力しながら準備や練習をしようとする。 思：だれとどこを見学するかをワークシートに書くことができる。 知技：バスに乗ったときに自分でお金を払うことができる。公共の場での過ごし方がわかりみんなと一緒に過ごすことができる。	16 (本時)
	4 校区探検をする。 ○ 美尾崎、天神方面 ○ 前方面 ○ 上、中園方面 ○ 西下方面	関：友達と協力しながら準備や練習をしようとする。 思：だれとどこを見学するかをワークシートに書くことができる。 知技：友愛バスを使い、バスの乗り降りが一人である。公共の場での過ごし方がわかりみんなと一緒に過ごすことができる。	関：準備や練習などを下級生に教えようとする。 思：ワークシートに活動計画を書くことができる。 知技：バスの乗り降りが一人である。公共の場での過ごし方がわかる。	関：本時の活動に見通しをもち、準備や練習をしようとする。 思：つくし手帳を使って、活動計画を立てることができる。 知技：下級生にバスの乗り降りを教えることができる。みんなと一緒に公共の場で過ごすことができる。	
終末	5 校区探検のまとめをする。 ○ 校区地図を作る。	思：楽しかったことや出来事を絵に表し発表できる。 思：楽しかったことや出来事を絵日記に表し、発表できる。	思：楽しかったことや出来事を友達の前で発表できる。 思：楽しかったことや出来事を、理由を付けて発表できる。	思：楽しかったことや出来事を絵日記に表し、発表できる。 思：楽しかったことや出来事を友達の前で発表できる。	4

6 本時(5/18)

(1) 目標

公共交通機関を利用して西之谷ダムまで行くことを楽しみにするとともに、バスの乗り方が分かる。

(2) 評価規準

A	B	C	D	E	F
教師が言葉掛けをすることでバスの乗り降りができる。 【知識・技能】	バスに乗ったときに自分でお金を払うことができる。 【知識・技能】	バスに乗ったときに自分でお金を払うことができる。 【知識・技能】	友愛バスを使い、バスの乗り降りが一人である。 【知識・技能】	バスの乗り降りが一人である。 【知識・技能】	下級生にバスの乗り降りを教えることができる。 【知識・技能】

(3) 指導に当たって

ア 主体的な学びの視点

導入において、西之谷ダムやバスの写真を見ることで、西之谷ダムに行きたい気持ちを高めるとともに本時の学習の意欲を高めることができるようにする。また、「すること」を確認することで、本時の学習の見通しをもつことができるようにする。

イ 対話的な学びの視点

展開では、バスに乗るときの様子の動画を見ることで、バスに乗ることができるようになりたいという意欲を高めるとともに、バスに乗る際、必要なことに気付いたり話し合ったりすることができるようにする。また、2度目の体験活動の際、「もしもポイント」として課題を提示することで、自らの課題を解決しようと考えることができるようにする。

ウ 深い学びの視点

終末では、チェックシートで、「のびるちゃんメーター」に丸印を書き、自己評価をすることで活動における自分の姿を振り返ることができるようにする。また、学習計画表を基に、次時の学習の確認をすることで、今後の学習への見通しをもち、活動の意欲をもつことができるようにする。

(4) 本時の展開

[] 子どもの意識 ○指導の手立て ※評価

過程	時間	主な学習活動	指導の手立て
導入	7	1 本時の活動を確認する。 (・ 西之谷ダムに行きたいな。 ・ バスに乗りたいな。 ・ どうやってバスに乗ればいいのか。) 2 本時のめあてをつかむ。 西之谷ダムへ行くために、バスに乗れるようになる。 3 学習の流れを確認する。 見通す	○ 学習計画表を見て本時の学習を確認することで、これまでの学習を振り返り、活動への意欲を高めることができるようにする。 ○ 西之谷ダムやバスの写真を見ることで、西之谷ダムに行きたい気持ちを高めるとともに本時の学習の意欲を高めることができるようにする。 ○ 「すること」を確認することで、本時の学習の見通しをもつことができるようにする。
展開	30	4 バスの乗り方を知る。 (・ 刈敷というバス停で降りるんだね。 ・ お金は90円必要だな。 ・ 降りるときはボタンを押せばいいんだな。) 5 バスの乗り方を練習する。 (・ 忘れずに整理券を取らないといけないね。 ・ 100円玉しかないときはどうすればいいかな。 ・ 降りる前にボタンを押してしまったらどうすればいいかな。) 6 つくし手帳を作る。 (・ つくし手帳のページが増えたぞ。 ・ 分からなくなったら手帳を見ればいいね。 ・ 早く完成させたいな。)	○ バスに乗るときの様子の動画を見ることで、バスに乗ることができるようになりたいという意欲を高めるとともにバスに乗るときに必要なことに気付いたり話し合ったりすることができるようにする。 ○ 2度目の体験活動の際、「もしもポイント」として課題を提示することで、自らの課題を解決しようと考えることができるようにする。【問】 ※ 公共交通機関を利用して西之谷ダムまで行くことを楽しみにするとともに、バスの乗り方が分かる。(模擬体験) ○ つくし手帳のページが増やしていくことで、「完成させたい。」「完成させたら、探検に行ける。」と学校探検への意欲を高めることができるようにする。
終末	8	7 本時の振り返りをする。 (・ もうバスに乗れるぞ。 ・ 西之谷ダムに行くのが楽しみだな。) 8 次時の学習活動を確認する。	○ チェックシートで、「のびるちゃんメーター」に丸印を書き、自己評価をすることで活動における自分の姿を振り返ることができるようにする。 ○ 学習計画表を基に、次時の学習の確認をすることで、今後の学習への見通しをもち、活動の意欲をもつことができるようにする。

